

第50回茨城県障害者技能競技大会

ワード・プロセッサ競技課題

1. 競技課題

文書作成競技、作表競技、入力競技の3種目とする。

(1) 文書作成競技（制限時間30分、出力時間10分）

文書内の指示に従い、課題を次の方法により作成する。

- ① ページ余白を上25mm・下15mm・左右30mmに設定する。
- ② 1行の文字数を40字に設定する。
- ③ A4判縦長・横書きで作成する。

完成度・正確度・体裁により評価する。

(2) 作表競技（制限時間30分、出力時間10分）

課題を、次の方法により作成する。

- ① ページ余白を上下左右20mmに設定する。
- ② A4判縦長・横書きで作成する（罫線を含む）。

完成度・正確度・体裁により評価する。

(3) 入力競技（制限時間10分、出力時間10分）

課題を、次の方法により作成する。

- ① 1行の文字数を35字に設定する。
- ② A4判縦長・横書きで作成する。

完成度・正確度・体裁により評価する。

2. 注意事項

- (1) 競技開始前に、使用ソフトを立ち上げ、機械の調子を確認してください。
- (2) 競技中に機械の故障やソフトの不具合が発生した場合、举手をして競技委員の指示に従ってください。
- (3) 競技中の退場は失格となります。ただし、トイレに立つ場合は、举手をして競技委員の指示に従ってください。（競技時間に含まれるので、注意してください。）
- (4) 競技は、課題ごとにそれぞれの時間内で行ってください。
- (5) 競技開始の合図（「始め」と言いながら手を上げます）があったら、使用ソフトを立ち上げて競技を始めてください。
- (6) 競技の課題ごとに、作成したファイルに指定のファイル名を付け、デスクトップに保存してください。
(ファイル名：「氏名」+「課題」+「課題番号」、例：「茨城太郎課題1」)
- (7) 競技の課題ごとに、選手番号と氏名を1行目の左側に入力してください。
- (8) 競技終了の合図（「終わり」と言いながら手を上げます）があったら、直ちに競技を中止し、競技委員の指示に従ってください。
- (9) 課題は、各競技時間の終了後に印刷して提出してもらいます。
- (10) 印刷後、各競技課題のデータは、上書き保存し、デスクトップに残してください。
- (11) 課題は、開始の合図があるまで手を触れないでください。
- (12) 紙製の辞書の持ち込み・使用は可能とします。

課題1 文書作成競技（問題）

（番号、氏名）

令和3年6月10日—①右寄せ

お客様各位

株式会社 若葉パソコン教室

水戸駅前校 教室長

無料体験セミナーのご案内—②18ポイント・センタリング・ゴシック体・下線

拝啓 入梅の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社水戸駅前校の10周年を記念いたしまして、下記のとおり「無料体験セミナー」をご用意いたしました。ぜひ、ふるってご参加ください。

なお、お申し込みは、6月30日までにお願いいたします。

敬具

記—③センタリング

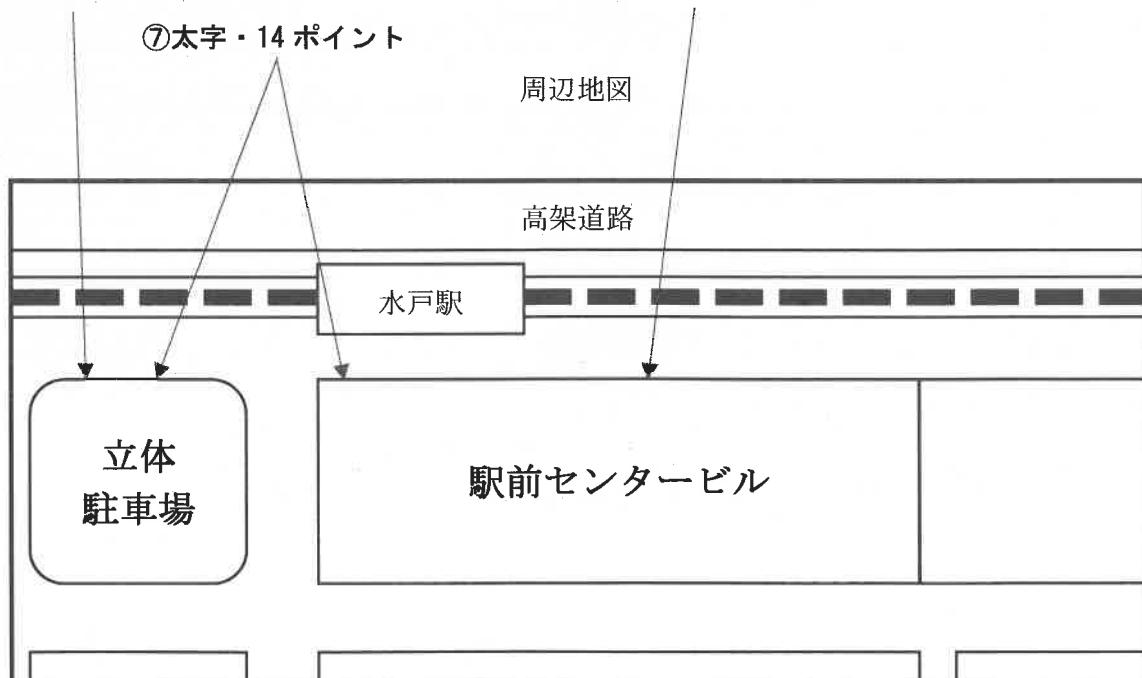
④均等割り付け（4文字幅）

- | | |
|--------|---|
| ① 開催日 | 令和3年7月10日（土曜日） |
| ② 時間 | 10:00～12:00 |
| ③ コース名 | 表計算の活用 |
| ④ 会場 | 若葉パソコン教室 水戸駅前校
水戸市本町1-100-1 駅前センタービル5階 |
| ⑤ 申込方法 | 「申込書」に必要事項を記入のうえ、窓口にてお申し込みください。 |

以上

⑤図形の塗りつぶし（薄い緑）

⑥図形の塗りつぶし（オレンジ）



課題 2 表作成競技

(番号、氏名)

支店別売上表

(令和2年上期分)

(単位：万円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
神奈川	川崎支店	135	120	105	154	132	124	770
	厚木支店	98	95	87	103	81	96	560
	逗子支店	74	59	63	82	67	54	399
	小田原支店	20	32	31	29	26	25	163
	小計	327	306	286	368	306	299	1,892
東京	船橋支店	65	70	71	80	85	83	454
	三鷹支店	111	103	95	84	124	97	614
	八王子支店	38	35	39	42	45	50	249
	町田支店	105	115	87	91	97	89	584
	小計	319	323	292	297	351	319	1,901
埼玉	野田支店	65	68	69	71	82	75	430
	春日部支店	43	40	35	37	39	40	234
	大宮支店	73	81	83	79	65	59	440
	岩槻支店	58	55	62	63	58	59	355
	桶川支店	32	39	29	31	35	42	208
	小計	271	283	278	281	279	275	1,667
合計		917	912	856	946	936	893	5,460

課題3 入力競技

(番号、氏名)

「統合イノベーション戦略 2019」(令和元年 6月 21 日閣議決定)では、特に取組を強化すべき 主要分野の一つとして環境エネルギーが取り上げられ、パリ目標「2目標」の達成及び「1.5」への貢献、並びに今世紀後半のできるだけ早期に「脱炭素社会」を実装することを目指し、関係 府省庁や産学官が連携して、研究開発から社会実装まで一貫した取組の具体化を図ることとした。文部科学省は、「気候変動適応技術社会実装プログラム」において、地方公共団体等における適 応策の立案・推進を支援するため、防災、農業や暑熱対策等の実際のニーズを踏まえた汎用的に 活用可能な近未来の超高解像度気候変動予測情報等を開発し、D I A S に加えて環境省等の関係 省庁と連携して取り組む「地域適応コンソーシアム」を通じて、研究開発成果を地方公共団体等 に提供している。また、気候変動を含む地球環境研究の世界規模のイニシアティブであるフューチャー・アース構想など、国内外のステークホルダーとの協働による研究を推進している。農林水産省は、農林水産分野における温暖化適応技術として、令和元年度に森林・林業、水産業分野における気候変動適応技術及び野生鳥獣被害対応技術の開発に取り組むとともに、気候変動がスギ人工林に及ぼす影響評価のための人工林生産能力予測技術の開発を推進した。また、温 暖化の進行に適応する農作物の品種・育種素材及び生産安定技術並びに病害虫や侵略的外来種の 管理技術の開発に取り組んでいるほか、畜産分野における温室効果ガス排出削減技術の開発を推進している。このほか、国際連携を通じて農業分野における温室効果ガス削減技術や気候変動適 応技術の開発を推進している。環境省は、環境研究総合推進費における戦略的研究課題の一つとして、効果的かつ効率的に緩 和・適応策に取り組むための定量的基礎資料を整備し、気候変動対策の適切な計画立案に貢献する「気候変動の緩和策と適応策の統合的戦略研究 (S-14)」を実施している。これらの戦略的研究をはじめとして、気候変動及びその影響の観測・監視並びに予測・評価及びその対策に関する 研究を環境研究総合推進費等により総合的に推進している。また、気候変動への適応については、気候変動適応法及び平成 30 年 11 月に閣議決定された「気 候変動適応計画」に基づき適応策の一層の充実を図っているところである。この適応法及び適応 計画に基づき、国立環境研究所は平成 28 年に構築

した「気候変動適応情報プラットフォーム」において、関係府省庁及び関係研究機関と連携して適応に関する最新の情報を提供するとともに、平成30年12月に「気候変動適応センター」を設立し、気候変動の影響や適応に関する研究や科学的な面から地方公共団体等の適応の取組のサポートを行っている。また、地域の関係者が一体となって適応策を推進するため、適応に関する取組について情報交換・共有等を行う気候変動適応 広域協議会を全国7ブロックで開催している。気象庁気象研究所は、局地的大雨をもたらす極端気象現象を、二重偏波レーダやフェーズドアレイレーダー、GPS等を用いてリアルタイムで検知する観測・監視技術の開発に取り組んでいる。また、局地的大雨を再現可能な高解像度の数値予報モデルの開発など、局地的な現象による被害軽減に寄与する気象情報の精度向上を目的とし研究を推進している。

(「令和2年版科学技術白書：第2部 第3章 経済・社会的課題への対応／文部科学省」より抜粋)

1377文字